

# 目 次

I. 和歌山大学岸和田サテライトについて	1
1. 岸和田サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
㊦大学院科目等履修生願書	6
㊧履歴書	7
㊨検定料の納入について	8
III. 学部開放授業受講者の募集	9
1. 聴講申請の手続き	9
IV. 令和6年度前期 岸和田サテライト開講授業	11
1. 大学院授業科目	11~12
2. 学部授業科目	13~14

## I. 和歌山大学岸和田サテライトについて

### 1. 岸和田サテライトの紹介

和歌山大学岸和田サテライトは、岸和田市をはじめとした大阪府泉州地域における住民主体の地域づくりと次代を担う人材育成に取り組んでいます。

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、平成18年4月、岸和田市立浪切ホール(現南海浪切ホール)に岸和田サテライトを開設しました。本学が有する高等教育機能を活用して、社会人のスキルアップや地域発展のニーズに即した大学院科目・学部科目を開講しているほか、専門性豊かな生涯学習の拠点として、一般市民を対象にした無料公開講座「わだい浪切サロン」や講演会も実施しています。

#### 【学部開放授業】フィールドワークや実習を取り入れた科目を開講



フィールドワークの様子



授業の様子

#### 【大学院経済学研究科授業】現代社会・地域課題に沿ったテーマを開講



大学院授業の様子①



大学院授業の様子②

#### 【わだい浪切サロン】



無料公開講座

#### 【講演会】



「岸和田サテライト友の会」講演会

## 2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」があります。

令和6年度前期に岸和田サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

それに伴うパソコン・WEBカメラ・マイクの他、インターネット環境等は各自でご準備ください。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上（高校生は除く）
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり (成績評価において合格した科目ごとに所定の単位が与えられます。)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき） ※令和4年度より「履修できる期間」の制度廃止に伴い、履修期間(1学期又は1年)毎に検定料と入学料及び授業料を徴収します。	聴講料 11,000円（1科目） ※現在、登録期間中の方は10,000円（1科目） ※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。 <u>ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。</u>
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは、経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。	
そ の 他	サテライトの授業は、土曜日および平日夜間を中心に行います。 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトにも、科目等履修生として履修できる経済学研究科修士課程の授業科目があります。	

## ●大学院科目等履修制度とは

### 【概要】

- 大学院(経済学研究科)の授業を土曜日および平日夜間を中心に、原則南海浪切ホールで開講します。
- 入学資格は、大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として、大学院授業受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を修得できます。
- 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講できます。  
(詳しくは、学務課学部等支援室経済学部係までお問い合わせください)

- 1学期毎に履修申請が必要です。

〈問い合わせ先〉

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

### 【修士課程(経済学研究科)への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について上記問い合わせ先までご照会ください。

- 既修得単位認定制度

本学大学院修士課程(経済学研究科)に入学した場合、本研究科開講の科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

## ●学部開放授業受講制度とは

### 【概要】

- 学部開放授業(連携展開科目)を原則土曜日に南海浪切ホールで開講します。18歳以上(高校生は除く)であれば聴講申請できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講できます。

### 【受講可能期間】

- 2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。  
ただし登録期間の有効期限が2024年4月1日以降の学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

## II. 大学院科目等履修生の募集

### 1. 出願および履修願の手続き

#### ●募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、11～12ページをご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※令和6年度前期の授業は対面授業を行いますが、やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

※受講に際しては、PC等の受信端末やネット環境等を各自で準備してください。

※経済学研究科は改組に伴いプログラム制となっています。進学希望の方は、出願前に修了要件等について問い合わせ先までご照会ください。(P.5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

#### ●募集人数

各科目とも、若干名

#### ●出願期間

令和6年2月20日(火)～2月27日(火)(必着)

#### ●出願方法

##### ○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者  
詳しくは、学務課学部等支援室経済学部係までお問い合わせください。(P.5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※入学資格について不明な点のある方は、検定料振込前に学務課学部等支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1カ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

##### ○検定料

5,000円

##### ○出願書類

「岸和田サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍謄本等それが分かる書類を添付してください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

ただし、卒業(修了)証明書の原本を過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)又は科目等履修生証(カード)のコピーでもかまいません。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるように必要な額の切手を貼ってください。

出願書類等を学務課学部等支援室経済学部係宛に郵送(期限必着)してください。持参する場合は9:00~17:00(ただし12:00~13:00を除く)に提出ください。その際、封筒の表に「岸和田サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、郵送の場合「特定記録」郵便で送付してください。

●**選考および結果通知**

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

●**入学手続期間・手続方法**

**令和6年3月14日(木)~3月15日(金)(必着)**

手続書類を学務課学部等支援室経済学部係まで郵送(期限必着)または持参(9:00~17:00 ただし12:00~13:00を除く)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

●**入学金・授業料**

入学金 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては、入学手続書類を確認してください)

●**その他**

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

●**出願先・問い合わせ先**

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp



令和 年 月 日

## 岸和田サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) \_\_\_\_\_

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

### 履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	商法	1
<input type="checkbox"/>	マーケティング論	1

( : 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和6年4月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。



## 履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 - )  TEL.( ) -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 - )  TEL.( ) - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	( 年制)	入 学 ----- 年 月	
		卒 業 ----- 年 月	
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

# 令和6年度前期検定料の納入について（岸和田サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部等支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

①  太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

### C 票 振込金受付証明書

令和6年度前期入学検定料  
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	三井住友銀行 和歌山支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印
-----

(ご依頼人→大学)

### B 票 振込金領収書(本人保存)

令和6年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	三井住友銀行和歌山支店			
受取人	普通預金	6820828		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印
-----

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

### A 票 振込依頼書

令和6年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	円
受取人	振込先銀行	三井住友銀行	和歌山支店	(普)	6820828	金額	5,000円	
	口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				内		
	整理番号	2	6	1		現金		
	フリガナ					取		
	志願者氏名					納		
	住所					印		

\* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

(取扱店保存)

取納印
-----

### III. 学部開放授業受講者の募集

#### 1. 聴講申請の手続き

##### ●聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位認定はありません。)

##### ●募集科目および募集人数

「不登校・ひきこもりと向き合う」 (24名程度)：授業内容は13ページをご覧ください。

「大阪の農業・水産業の将来を考える」 (24名程度)：授業内容は14ページをご覧ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境等は各自で準備してください。)

※障がいの有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問合せ先までご相談ください。

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

##### ●聴講申請方法

#### 1. 申請の仮登録

岸和田サテライトHPの下記のフォームより仮登録を行ってください。

仮登録フォームURL：<https://sites.google.com/view/wadaikishiwada/>

**登録期間：令和6年2月20日(火) 10:00～令和6年3月21日(木) 17:00まで**

※先着順となるため、募集人数を超えた場合は受講できませんのでご注意ください。

(QRコードを  
お使いください)



#### 2. 聴講料の納入

受講が可能になった方から、岸和田サテライトより申請書と振込方法(振込依頼書またはATM・ネットバンキングによる方法)を記載した書類をメールにて送付しますので聴講料をお振込みください。なお、振込後の返金はいたしかねます。

#### 3. 申請書類の提出

金融機関などで振込依頼書またはATM・ネットバンキングにより振込後、振込金受付証明書を貼付(ATM・ネットバンキングによる振込の場合は振込金額が分かる書面コピーを添付)のうえ学部開放授業聴講申請書を和歌山大学岸和田サテライト宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きして「特定記録」郵便で送付してください。

**提出期間：令和6年2月27日(火)～3月28日(木)(必着)**

※持参による申請書提出は、事前に岸和田サテライトまでご連絡ください。(受付時間9:00～17:00 日曜・月曜・祝日は休み。)

※3月28日(木)までに聴講料の納入と、申請書類の提出のいずれかを欠く場合には受講できませんのでご注意ください。特に郵送する場合は、郵送期間を考慮に入れて期限までに必着する必要があります。

#### 4. 参考

※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。

ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

聴講料とは授業料にかわるもので、

【新規申請者】：1科目※【11,000円】です。

【登録期間中聴講学生】：1科目※【10,000円】です。

→令和6年4月以降の登録者証(カード)の有効期限が残っている方

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

#### ●受講通知

申請期間の終了後、授業の案内を送付します。

#### ●フィールドワークについて

交通費など諸費用については、各自のご負担となります。

またフィールドワークに伴う保険料をご負担いただく場合があります。

#### ●問い合わせ先

仮登録後、7日以上過ぎても岸和田サテライトから電子メールが届かない場合は、下記の窓口までお問い合わせください。

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 岸和田サテライト	〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 南海浪切ホール2F	072-433-0875(faxも同じです) kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 9:00~17:00 (日曜・月曜・祝日は休み)

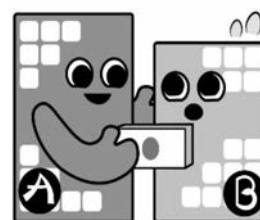
## IV. 令和6年度前期 岸和田サテライト開講授業

### 1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	マーケティング論 (Marketing)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	柳 到亨		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：4月20日(土) 13:00～14:30	第3回：5月11日(土) 13:00～17:00	
	第2回：4月27日(土) 13:00～17:00	第4回：5月18日(土) 13:00～15:30	
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b> この授業のねらいは、3つあります。1つ目は、受講生が「伝統的マーケティング理論と概念を理解できるようになること」、2つ目は、「デジタルマーケティングの理論と概念を理解できるようになること」、3つ目は「マーケティング事例分析ができるようになること」です。</p> <p><b>【授業計画】</b> 第1回 ガイダンス、①デジタルのマーケティング 第2回 ②デジタル・マーケティングの基本概念、③製品戦略の基本、④製品戦略の拡張 第3回 ⑤価格戦略の基本、⑥価格戦略の拡張、⑦チャネル戦略の基本、⑧チャネル戦略の拡張 第4回 ⑨プロモーション戦略の基本、⑩プロモーション戦略の拡張</p> <p><b>【到達目標】</b> 到達目標は、2つあります。1つ目は、「伝統的マーケティングの理論や概念を用いて、それを説明しつつ、デジタルマーケティング理論や概念を習得する。」こと、2つ目は、「具体的な事例(アマゾン、食ペログ、メルカリ、無印良品)をもとに現実に根ざした概念を吟味することで、思考力の向上をはかる。」ことです。</p> <p><b>【成績評価の方法・基準】</b> テキスト(「1からのデジタル・マーケティング」)の発表およびレポート(80点)、授業への参加度(20点)</p> <p><b>【教科書】</b> 西川英彦・澁谷覚(2019)「1からのデジタル・マーケティング」中央出版社。</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b> 久保田進彦・澁谷覚・須永努(2022)「はじめてのマーケティング(新版)」有斐閣。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b> この授業は岸和田サテライトで開講します。オンラインもしくは現地で受講してください。主に、グループ発表またはグループディスカッションを行うので、現地での受講が望ましい。</p> <p><b>【履修する上で必要な事項】</b> ・毎回テキストを予習して受講することが望ましい。 ・講義の中で、参考文献を紹介するので、積極的な自習を期待する。</p> <p><b>【履修を推奨する関連科目】</b> 人的資源管理、組織開発</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b> ・次回の授業でとりあげるテキスト章、およびレポート課題を確認し、予習を欠かさないようにしてください。 ・発表者は、テキストおよびケース課題を、パワーポイントでプレゼンテーションをしてください。 ・毎週、授業の予習・復習内容、ケース課題をA4用紙1枚にまとめて提出してください。 ・授業スケジュールは変更されることがあります。授業時に新たな指示がある場合は、そちらを優先してください。</p> <p><b>【その他連絡事項】</b> とくになし。</p> <p><b>【授業理解を深める方法】</b> 双方向の授業のため、事前に案内する課題のもとに、テキストを読むこと。 自主学習 学生による発表をともなう学習 グループワークをともなう学習</p>			



授業科目名 (英語表記)	商法 (Commercial Law)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	清弘 正子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：4月25日(木) 18:00～21:00	第3回：5月23日(木) 18:00～21:00	
	第2回：5月9日(木) 18:00～21:00	第4回：6月6日(木) 18:00～21:00	
<p><b>【授業の概要・ねらい】</b>          企業組織・活動に関する法制度への理解を深めることを目的として、商法(総則・商行為)に関する判例・演習問題の分析・検討を行う。</p> <p><b>【授業計画】</b>          第1回 ・ガイダンス          ・商法(総則・商行為)判例研究(判例報告および受講者全体による討論。以下同じ)          ー題材例：「不正の目的による商号の使用」等          第2回～4回 ・商法(総則・商行為)判例研究          ー題材例：「営業譲渡の意義」等</p> <p><b>【到達目標】</b>          先行研究に対する理解に基づき、商法に関する判例について自ら解説することができ、論理的な議論をすることができる。</p> <p><b>【成績評価の方法・基準】</b>          ・報告内容および討論への参加状況・貢献により、総合的に評価を行う。          ・商法(総則・商行為)に関する判例について、先行研究を入手し、検討理解したうえで解説・議論することができる。</p> <p><b>【教科書】</b>          ・神作裕之＝藤田友敬編「商法判例百選」(別冊ジュリスト243号)2019年          ・最新版の六法(「ポケット六法」有斐閣等、小型のもので良い)</p> <p><b>【参考書・参考文献】</b>          ・近藤光男「商法総則・商行為法 第9版(有斐閣法律学叢書)」2023年、有斐閣、ISBN：978-4-641-23308-9          ・その他、必要に応じて講義内で紹介する。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>          ・この授業は岸和田サテライトで開講します。オンラインもしくは現地で受講してください。          ・報告の題材・スケジュールを講義開始前に決定して、第1回目の講義から各自の報告を行ってもらう予定です。通知・連絡等に注意してください。          ・やむを得ず欠席・遅刻する場合には、事前に連絡のこと。なお、報告担当者の無断欠席は、履修放棄とみなします。          ・商法(総則・商行為)および会社法に関する学部レベルの知識を既に有することを前提に、講義および評価を行います。          ・議論に積極的に参加してください。</p> <p><b>【履修する上で必要な事項】</b>          商法(総則・商行為)および会社法に関して、最低限、学部レベルの知識を有すること。</p> <p><b>【履修を推奨する関連科目】</b>          「会社法」「企業組織法」</p> <p><b>【授業時間外学修についての指示】</b>          ・毎回、報告者による報告とそれについての議論をしますので、受講者は、それぞれ次の準備をすること。          (1)報告者：報告準備をし、レジュメを作成する。          (2)それ以外の受講生：当日報告される判例について、議論に参加することができるよう、十分に予習をすること。</p> <p><b>【その他連絡事項】</b>          報告の題材・スケジュールを講義開始前に決定して、第1回目の講義から各自の報告を行ってもらう予定です。通知・連絡等に注意してください。</p> <p><b>【授業理解を深める方法】</b>          ・学生自らが実施する調査やトレーニングを必要とする学習</p>			



## 2. 学部授業科目

授業科目名 (英語表記)	不登校・ひきこもりと向き合う ―居場所づくりと歩き出すための支援について― (Facing School Absenteeism and Withdrawal : Helping People to Find a Place and Start Walking)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	山崎 由可里、船越 勝、則定 百合子、森 麻友子、北岡 大輔、村田 和子		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：4月13日(土) 13:00～17:00	第4回：5月18日(土) 13:00～17:00	
	第2回：4月27日(土) 13:00～17:00	第5回：6月1日(土) 13:00～17:00	
	第3回：5月11日(土) 13:00～17:00	第6回：6月8日(土) 13:00～17:00	
<b>【授業の概要・ねらい】</b>			
<p>小・中学校の不登校児童生徒数は、2022年度に全国で約30万人、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は31.7人に達し、10年連続で増加し、過去最多を更新した。それにともない、保護者や教師を中心に、その適切な対応の仕方について思い悩む人の数も大きく増加している。加えて、8050問題など、成人期以降の引きこもりなどについても社会問題化している。この授業では、小学生から成人までの不登校や引きこもりに対する理解を深めるとともに、教員、サポートする市民、行政などの関係者の生の声や取り組みに触れることを通して、当事者への理解を深め、支援の受け方や仕方について、学び、実践し、支援を必要とする方々への支援につながる力を身につけることを目的としている。</p>			
<b>【授業計画】</b>			
<p><b>第1回 オリエンテーション・不登校・ひきこもりの現在</b>          長年第一線で取り組んできた専門家と実践家が、パネルディスカッション形式で現状や課題を明らかにします。          和歌山大学教育学部 山崎 由可里教授、和歌山大学教育学部 船越 勝教授          ゲストスピーカー：和歌山大学 堀内 秀雄元副学長 秋桜高等学校 浦田 直樹教諭</p>			
<p><b>第2回 学級における不登校の子どもの理解と支援―居場所づくりをめざして―</b>          不登校の子どものとって、まず学級を安心できる居場所にするにはどうするか考えていきます。          和歌山大学教育学部 船越 勝教授          ゲストスピーカー：京都市立大原小中学校教諭 澤田 樹教諭</p>			
<p><b>第3回 不登校・ひきこもりに至る心理的プロセスと背景</b>          子どもがなぜ、学校に行きたがらなくなったり、ひきこもったりするのかを、臨床心理学の側面からひも解きます。          和歌山大学教育学部 則定 百合子准教授          ゲストスピーカー：岸和田市教育委員会 指導主事</p>			
<p><b>第4回 不登校・ひきこもり支援と地域社会・社会教育</b>          不登校・ひきこもりの支援について地域社会は何ができるのかを、社会教育の視点から検討します。          和歌山大学教育学部 山崎 由可里教授、紀伊半島価値共創基幹 村田 和子非常勤講師          ゲストスピーカー：共同作業所エルシティオ 「えびとおはぎ」 具路 康平氏</p>			
<p><b>第5回 大学生のひきこもりの原因とその対処について</b>          大学生の不登校・ひきこもりの実態とその対応の仕方について、実例を交えてお話しします。          和歌山大学 キャンパスライフ・健康支援センター 副センター長 森 麻友子准教授          ゲストスピーカー：公認心理士 上安 涼子氏</p>			
<p><b>第6回 不登校・ひきこもりから歩き出すとき</b>          これまでの講義を振り返るとともに、不登校やひきこもりの先に、どんな一歩を踏み出す支援ができるかを考えます。          和歌山大学教育学部 北岡 大輔講師          ゲストスピーカー：和歌山県立紀北支援学校 中村 知樹教諭</p>			
<b>【到達目標】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題としての不登校やひきこもりの背景と現状について、説明することができる。</li> <li>・ケースに合わせて、不登校やひきこもりの当事者に対する理解・支援を具体例とともに提案することができる。</li> </ul>			
<b>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</b>			
授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方などを含めた総合評価を行う。			
<b>【教科書・参考書・参考文献】</b>			
武田鉄郎(2017)「発達障害の子どもの「できる」を増やす提案・交渉型アプローチ：叱らないけど譲らない支援」学研			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b>			
授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を持ち、情報収集、理解に努めてください。			
<b>【履修する上で必要な事項】</b>			
配当された授業を受講し、積極的に参加すること。			
<b>【授業時間外学修についての指示】</b>			
事前・事後学習については、その都度連絡する。			
<b>【授業理解を深める方法】</b>			
次の図書を事前に入手し、読んでおくことで理解が深まる。			
武田鉄郎編著(2017) 発達障害の子どもの「できる」を増やす提案・交渉型アプローチ―叱らないけど譲らない支援。学研			



授業科目名 (英語表記)	大阪の農業・水産業の将来を考える (Think about the future of Agriculture and Fisheries in Osaka)		
単位数	2(学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	岸上 光克、原 祐二		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：6月22日(土) 13:00～17:00	第4回：7月13日(土) 13:00～17:00	
	第2回：6月29日(土) 13:00～17:00	第5回：7月27日(土) 13:00～17:00	
	第3回：7月6日(土) 13:00～17:00	第6回：8月3日(土) 13:00～17:00	

#### 【授業の概要・ねらい】

大阪南部地域では、農業や水産業従事者の伸び悩みや高齢化など、様々な課題が生じている。また、地域で安全な食が生産され、消費されるための環境づくりも大きな課題の一つである。この授業では、これらの地域課題が生じる背景や、その対策と、将来の展望などを明らかにしていく。

#### 【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション 都市農業新時代～これまでとこれから～  
和歌山大学 橋本 卓壘名誉教授、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第2回 大阪農業の実態と新展開  
JA大阪中央会職員、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第3回 大阪の農業振興を考えるうえでのヒント  
和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第4回 大阪農業の実態を知ろう【フィールドワーク】  
大阪府内の農業関連施設、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第5回 大阪水産業の現状とこれからの展開  
摂南大学農学部 副島 久実准教授、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第6回 都市循環型農業の可能性とまとめ  
和歌山大学システム工学部 原 祐二准教授、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授



#### 【到達目標】

- ①都市農業(もしくは都市近郊農業)の基本的枠組を理解し、説明できる
- ②都市農業(もしくは都市近郊農業)を取り巻く社会経済的環境の変化を理解し、説明できる
- ③都市農業(もしくは都市近郊農業)の社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる

#### 【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。

#### 【教科書】

特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。

#### 【参考書・参考文献】

授業中に示す。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。受講生の理解度を見ながら、授業の進度やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。

#### 【履修する上で必要な事項】

都市農業に関わる新聞記事やニュース等について日常的に目を通す習慣をつけてください。

#### 【授業時間外学修についての指示】

本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。

#### 【授業理解を深める方法】

都市農業の理解については、都市計画法や都市農業振興基本法などの法制度を中心として多様な基礎知識とともに、現場感覚が必要となる。

関係図書や資料を読む座学とともに、都市農業関連の情報収集の機会を持つ必要がある。



## 〈気象警報発表時・交通機関運休時等の授業取扱について〉

岸和田市に「暴風警報」または「大雨警報」、「大雪警報」が発表若しくは「南海本線」「JR阪和線」の両線が運休等した場合は、その期間中の授業は休止となります。

詳しくは、和歌山大学岸和田サテライトホームページで確認してください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

## 〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき、次の方針を定め、適正に取扱います。

「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する基本指針」  
(和歌山大学HP)

